



赤嶺 奈津江 議員

コミュニティ・スクール制度 (学校運営協議会制度)導入を

答 導入について検討していく

問 コミュニティ・スクール制度は、法律改正で平成29年4月に施行され、5年を目処として努力義務としている。本町の方針を問う。

教育長 具体的な取り組みはまだ行っていない。今後、導入について検討していく。

問 まだ導入に向かっている原因はなにか。

教育部長 今現在ある学校応援隊はえざる等をよく生かしながら、さらにコミュニティ・スクールに、どういう形でリレーしていくかを含め検討していく。

コミュニティバス等の導入を問う

問 これまで高齢者等の買物弱者支援のためにコミュニティバス等の提案をしてきたが、本町の導入予定はあるか。

副町長 現在の公共交通運行状況、主要施設の立地状況、地域の実情や需要及び財政負担等を踏まえ、検討を重ねていく。

現在の財政状況を鑑み、早期の事業実施は厳しい面があり、優先度を考慮する必要がある。

問 自活して一生懸命頑張っている高齢者を応援するのも町の仕事だと思える。早期にやるべきだと思えるが、町長はどう考えるか。

町長 行政の立場としては、優先順位は高いほうだと認識している。重度心身障がい児の医療支援等や、やりたい事業がたくさんある。やはり弱い立場の方々に支援するのが行政の役割だと考える。

各種団体・各部・各課が行う行事の持ち方を問う

問 町内で開催される行事が同じ日に複数なる事が多々ある。各種団体・各部・各課の事業を調整しているか。

教育長 教育委員会では、例年2月から3月にかけて、校長・教頭連絡会で学校行事を集約し、関係する機関に行事を調整し、重複のないように

している。また、町の社会教育関係団体の年間行事予定表を作成し、各自治会、社会教育関係団体へ配布し、年間行事の周知は行っている。

問 平成27年3月定例会でも同様の質問をしたが、その後、変わった点はあるか。

教育長 早めの行事の周知や趣旨説明を行っているが、各種団体の都合もあり、調整はなかなか難しい。



南風原町HPの「町のスケジュール」も参考に